

- ピロエースZ液 ●ピロエースZ軟膏 ●ピロエースZクリーム
- ピロエースW液 ●ピロエースW軟膏 ●ピロエースWクリーム
- ピロエースWパウダースプレー

【使用上の注意】

使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないで下さい。
本剤又は本剤の成分により過敏症状(発疹、発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人
▶ピロエースZ液
▶ピロエースZ軟膏
▶ピロエースZクリーム
2. 次の部位には使用しないで下さい。
(1) 目や目の周囲、顔面*、粘膜(例えば、口腔、鼻腔、膈等)、陰のう、外陰部等
※ピロエースW液
※ピロエースW軟膏
※ピロエースWクリーム
※ピロエースWパウダースプレー

(2) しっしん

(3) 湿潤、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部



■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
(1) 医師の治療を受けている人
- (2) 乳幼児
- (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (4) 患部が顔面又は広範囲の人
▶ピロエースZ液
▶ピロエースZ軟膏
▶ピロエースZクリーム
- (4)' 患部が広範囲の人
▶ピロエースW液
▶ピロエースW軟膏
▶ピロエースWクリーム
▶ピロエースWパウダースプレー

【解 説】

1. 共通事項解説[1]参照
2.
(1) 記載されている部位に本剤を使用すると、刺激感が強くあらわれたり、症状が悪化するおそれがあります。
- (2) 本剤はしっしんに対して無効であり、誤って使用するとかえって症状を悪化させるおそれがあります。
- (3) これらの患部に本剤を使用すると、刺激感が強くあらわれたり、症状が悪化するおそれがあります。
1.
(1) 共通事項解説[4]参照
- (2) 乳幼児は皮膚の浸透性が高く、刺激があらわれるおそれがあります。また、乳幼児のみずむし・たむし症状と白癬菌が原因ではないしっしん等との区別は、一般使用者では判断が難しいため、専門家に相談してその指示に従うことが必要です。
- (3) 共通事項解説[7]参照
- (4) 患部が顔面の場合、目や目の周囲、鼻腔、口腔等刺激を受けやすい器官があるため注意が必要です。また、患部が広範囲の場合は大量使用により副作用があらわれやすくなるおそれがあります。

- ピロエースZ液 ●ピロエースZ軟膏 ●ピロエースZクリーム
- ピロエースW液 ●ピロエースW軟膏 ●ピロエースWクリーム
- ピロエースWパウダースプレー

【使用上の注意】

- (5) 患部が化膿している人
- (6) 「しっしん」か「みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし」かがはっきりしない人
(陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、しっしん等他の原因による場合が多い)
- (7) 妊婦又は妊娠していると思われる人
▶ピロエースZ液
▶ピロエースZ軟膏
▶ピロエースZクリーム
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、この文書(製品)を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、刺激感、熱感 ^{*2,3} 、疼痛 ^{*3} 、ただれ、乾燥・つっぱり感 ^{*1,2} 、乾燥感 ^{*3} 、水疱 ^{*1,2} 、ヒリヒリ感 ^{*2,3} 、亀裂 ^{*1,2}

[なお、「むくみ、息苦しさ」があらわれた場合には、直ちに医師の診察を受けて下さい。]^{*1,2}

- ※1：ピロエースZ軟膏
- ※2：ピロエースZ液、ピロエースZクリーム
- ※3：ピロエースW液、ピロエースW軟膏
ピロエースWクリーム
ピロエースWパウダースプレー

3. 使用後、症状がかえって悪化した場合(ただれたり、化膿したり、病巣が(使用)前より広がる等)は、直ちに使用を中止し、この文書(製品)を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
4. 2週間位使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この文書(製品)を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

【解 説】

- (5) 患部が化膿している場合には、二次感染を併発していることが考えられ、重篤化する可能性もあるため、医師に相談して適切な治療を受ける必要があります。
- (6) 本剤はしっしんに使用した場合は無効であり、かえって症状が悪化したり、副作用があらわれることがあります。特に陰のうしっしん(白癬菌が原因ではない)によるかゆみは白癬菌によるかゆみと紛らわしいことから、注意が必要です。
- (7) 共通事項解説[5]参照
妊婦又は妊娠している可能性のある人に対する安全性は確立されていないので、慎重に用いる必要があります。

2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに使用を中止し、使用している薬剤の成分等がわかる添付文書(製品)を持参の上、専門家に相談する必要があります。

また、使用した場合には、より重篤な副作用があらわれる可能性もあります。重篤な副作用の初期症状と類似の症状である「むくみ、息苦しさ」があらわれた場合には、直ちに医師の診察を受ける必要があります。

- 3.4. 本剤の使用後、症状がかえって悪化した場合、2週間位使用しても症状の改善がみられない場合は、原因が白癬菌でない可能性あるいは効果が不十分の場合も考えられますので、使用を中止し、専門家に相談する必要があります。

- ピロエースZ液 ●ピロエースZ軟膏 ●ピロエースZクリーム
- ピロエースW液 ●ピロエースW軟膏 ●ピロエースWクリーム
- ピロエースWパウダースプレー

【使用上の注意】

【解 説】

【使用法に関連する注意】

1. 使用法を厳守して下さい。
2. 患部やその周囲が汚れたまま使用しないで下さい。
3. 目に入らないように注意して下さい。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けて下さい。
4. 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させて下さい。
5. 外用にのみ使用して下さい。
6. 使用前によく振ってから使用して下さい。
▶ピロエースWパウダースプレー
7. 患部まで約10cmの距離で噴霧して下さい。
▶ピロエースWパウダースプレー
8. 凍傷になる恐れがありますので、同じ箇所に連続して1秒以上噴霧しないで下さい。
▶ピロエースWパウダースプレー
9. 内容物の残量が少なくなったときに、缶を横向きの状態で使用すると、出にくくなる場合があります。
▶ピロエースWパウダースプレー

1. 共通事項解説〔8〕参照
2. 患部やその周囲に汚れが付着していると、細菌による二次感染等により症状が悪化する場合があります。
3. 万一、目に入った場合、強い刺激を感じると共に、充血を起し腫脹をきたす等が考えられます。このような場合は直ちに目を水で洗い流し、薬液を取り除いて下さい。また、水洗いしても刺激がいつまでも続いたり、涙が止まらない場合には、眼科医の診療を受けて下さい。
4. 共通事項解説〔9〕参照
5. 定められた投与経路、適用部位以外への使用は、思わぬ副作用や事故が発生するおそれがあります。
6. 内容物を均一にするための、スプレー剤としての注意です。
7. 薬剤が患部からはずれて飛散するのを防ぐための注意です。
8. 本剤は、噴霧すると患部を冷却する作用がありますので、同じ箇所に長く噴霧すると凍傷になるおそれがあります。
9. 本剤を正しくご使用いただくための注意です。たて向きに噴霧すれば最後まで使用できます。

【成分・分量に関連する注意】

1. 本剤はアルコールを含んでいますので、しみる場合があります。
▶ピロエースZ液
▶ピロエースW液
▶ピロエースWパウダースプレー
2. 塗布後ほてり(熱感)を感じるがありますが、短時間のうちに消失します。
▶ピロエースZ液
▶ピロエースZクリーム
▶ピロエースW液
▶ピロエースW軟膏
▶ピロエースWクリーム
▶ピロエースWパウダースプレー

1. アルコールにより、感じる場合があります。
2. クロタミトンにより、一時的に感じる場合があります。

- ピロエースZ液 ●ピロエースZ軟膏 ●ピロエースZクリーム
- ピロエースW液 ●ピロエースW軟膏 ●ピロエースWクリーム
- ピロエースWパウダースプレー

【使用上の注意】	【解 説】
<p>【保管及び取扱い上の注意】</p> <p>1. 直射日光の当たらない涼しい所に(密栓して)保管して下さい。</p> <p>2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。</p> <p>3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり、品質が変わります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ピロエースZ液 ▶ピロエースZ軟膏 ▶ピロエースZクリーム ▶ピロエースW液 ▶ピロエースW軟膏 ▶ピロエースWクリーム <p>4. 火気に近づけないで下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ピロエースZ液 ▶ピロエースW液 ▶ピロエースWパウダースプレー <p>5. 本剤は化学繊維、プラスチック類、塗装面等を溶かしたりすることがありますので、床、家具、メガネ等につかないようにして下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ピロエースZ液 ▶ピロエースW液 ▶ピロエースWパウダースプレー <p>6. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。</p> <p>7. 捨てるときには、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを抜いて下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ピロエースWパウダースプレー 	<p>1. 共通事項解説〔11〕参照</p> <p>2. 共通事項解説〔12〕参照</p> <p>3. 共通事項解説〔13〕参照</p> <p>4. 本剤にはアルコールが含まれているため、火気に近づけると引火するおそれがあります。 また、ピロエースWパウダースプレーは高圧ガス(LPG)を使用した可燃性のスプレー剤であり、危険防止のため、火気や高温を避ける必要があります。</p> <p>5. 本剤に有機溶剤(アルコール)が使用されているため、本剤が付着すると、化学繊維、プラスチック類、塗装面等を変質・変色させる場合があります。</p> <p>6. 共通事項解説〔17〕参照</p> <p>7. 中にガスが残っていると、容器が破裂して事故の原因となる可能性もあるので、捨てるときはガスを抜いて下さい。</p>